

中学校再編に関する説明資料

令和2年5月 下田市教育委員会学校教育課

説明資料目次

これまでの経過について

- 1 平成26年度以前の経過 3
- 2 平成27年度の経過 4
- 3 平成28年度の経過 5
- 4 平成29年度の経過 6
- 5 平成30年度の経過 7
- 6 令和元年度の経過 9

総合教育会議報告書について

- 1 総合教育会議報告書策定の経緯 10
- 2 総合教育会議における中学校再編
に関する方向性について 11
- 3 今後の中学校再編に関する検討について . 12

教育委員会報告書について

- 1 教育委員会報告書策定の経緯 13
- 2 今後の方向性について 14
- 3 既存中学校の跡地利用について 15

再編整備審議会について

- 1 再編整備審議会審議経過について 16
- 2 再編整備審議会答申について 17

市の方針について

- 1 中学校再編に関する市の方針について 19
- 2 下田中学校の現況 20
- 3 下田中学校からの2・4・6km距離について . 21
- 4 各地区から下田中学校までの路線バス
乗車時間について（既存ダイヤ） 22
- 5 遠距離通学方法の考え方 23

統合準備委員会について

- 1 統合準備委員会審議経過について 24
- 2 統合準備委員会組織について 26
- 3 統合準備委員会第一次答申について 27
- 4 統合準備委員会第二次答申について 28
- 5 新中学校校章等の選定について 29
- 6 新中学校部活動について 30

中学校整備計画について

- 1 新中学校施設配置図について 34
- 2 工事スケジュールについて 35

今後の中学校再編について

- 1 学校再編スケジュールについて 36

これまでの経過について①

1 平成26年度以前の経過

年 月	事 柄	主な内容
H19.12	下田市立小・中学校再編整備について（答申） （下田市立学校等再編整備審議会 →下田市教育委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・単学級編成の学校において少人数による支障が教育活動に生じてくる場合は、市内4中学校体制を検討し新たな中学校体制を構築する。 ・平成22年4月1日に稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、稲生沢中学校校舎に新中学校を創設する。
H21.5	教育委員会で統合先送りの結論（5月定例会）	<ul style="list-style-type: none"> ・稲梓中学校と稲生沢中学校の統合は、当面先送りする。ただし、保護者・地域からの要望によっては統合に向け前向きに取り組んでいく。 ※当時の保護者や地域住民の方の十分な同意を得ることができなかつたため。
H26.12	学校再編整備について（諮問） （下田市教育委員会 →下田市立学校等再編整備審議会）	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の流れが更に加速し、教育環境を取り巻く状況は変化を続けており、今後の児童生徒数の動向を見据えつつ、平成19年当時の答申を踏まえ、学校教育環境のあり方について、意見を求める。
H27.3	学校再編整備について（答申） （下田市立学校等再編整備審議会 →下田市教育委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校は、近い将来、少人数による教育課題が生じる可能性。将来的には中学校は一つということも、視野に入れて再編を考えていくべきと思われる。 ・現状では、中学校の再編による課題を一つずつ認識し、その第一段階として、稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、現在の稲生沢中学校校舎に新たな中学校を構築すべきである。 ・下田東中学校が単学級となった場合、下田中学校との統合を推進。更には、将来は下田市に中学校は一つということも視野に入れ中学校再編を考えていく。

これまでの経過について②

2 平成27年度の経過

年 月	事 柄	主な内容
H27.4	第1回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について・ 下田市総合教育会議設置要綱について・ (仮称)下田市教育大綱について
H27.6	学校等再編整備審議会答申に関する説明会	<ul style="list-style-type: none">・ 4 中学校区ごと開催 小中P T A 役員対象 97人参加
H27.10	第2回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・ 下田市教育大綱（案）について・ 新給食センターについて・ 学校再編について
H27.12	第3回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・ 下田市教育大綱（案）について・ 学校再編について
H28.1	学校再編アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none">・ 市内小中学校のすべての保護者及び教職員を対象回答数：1,131（保護者984・教職員147）保護者回答率67%
H28.2	第4回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none">・ 学校再編について

これまでの経過について③

3 平成28年度の経過

年 月	事 柄	主な内容
H28.4	第1回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編アンケートの分析結果について ・学校等再編方針検討会の設置及び今後のスケジュールについて ・庁内プロジェクトチームの設置について
H28.5 H28.7	下田市総合教育会議懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書内容の事前協議（2回開催）
H28.8	第2回下田市総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> ・「下田市立中学校再編に係る報告書」策定
H28.10	第1回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議報告書概要説明及び今後のスケジュールについて ※再編検討会議＝再編に関する意見を聴取する組織
H28.10～ H28.11	市長と語る会・保護者説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6地区ごと ・4中学校学区及び幼保こども園（全8回）
H28.10～ H28.12	保護者・教職員アンケート調査実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幼保こども園、小中学校保護者及び教職員を対象 配付1,882 回収1,222 回収率65%
H28.11	下田市立中学校再編検討会議 中学校視察	<ul style="list-style-type: none"> ・稲生沢中学校及び下田中学校視察
H28.12	第2回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学区別意見交換
H29.2	第3回下田市立中学校再編検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ・「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書（案）」概要説明
H29.3	教育委員会（3月定例会）	<ul style="list-style-type: none"> ・「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地等に関する報告書」策定

これまでの経過について④

4 平成29年度の経過

年月	事柄	主な内容
H29.4	第1回下田市立学校等再編整備審議会	・ 諮問、中学校再編経過説明
H29.5	第2回下田市立学校等再編整備審議会 及び中学校現地視察	・ 稲生沢中学校及び下田中学校視察 ・ 中学校視察に関する意見交換 ・ 答申案作成に向けた検討
H29.7	第3回下田市立学校等再編整備審議会	・ 中学校再編に関する答申案の協議及び決定
H29.7	下田市立学校等再編整備審議会答申	・ 会長及び副会長による答申
H29.7	第1回下田市総合教育会議	・ 中学校再編に関する検討経過について ・ 下田市立中学校の再編について
H29.8	下田市政策会議	・ 中学校再編整備に係る方針決定について
H29.9	下田市議会全員協議会	・ 中学校再編整備に係る市の方針決定を報告
H29.10～ H29.11	市長と語る会・保護者説明会	・ 市内6地区ごと ・ 7小学校学区及び幼保こども園（全11回）
H30.2	第1回下田市立学校統合準備委員会	・ 諮問、中学校再編経過説明 ・ 会長及び副会長の選出について

これまでの経過について⑤

5 平成30年度の経過①

年月	事柄	主な内容
H30.5	第2回下田市立学校統合準備委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校再編経過説明及び今後について・ 講演『希望ある学校再編のために』 静岡大学大学院教育学研究所 教授 武井敦史先生
H30.5	下田市立学校統合準備委員会 教職員合同部会研修会	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校再編経過説明及び今後について・ 講演『下田の新しい学校づくり』 静岡大学教職大学院 佐々木浩彦先生
H30.6	下田市議会（6月定例会） 下田市立小・中学校設置条例の一部改正条例 提案可決	<ul style="list-style-type: none">・ 既存4中学校を平成34年4月、現在の下田中学校地に『(仮称)下田市立統合中学校』として設置する内容の条例改正を提案し、全会一致で可決。
H30.8	下田市立学校統合準備委員会 市内教職員全体会	<ul style="list-style-type: none">・ 今後の中学校再編について・ 統合準備委員会各部会長紹介・ 講演『下田の新しい学校づくりとふるさと志向力』 元静岡大学特任教授 山口久芳先生
H30.8	第3回下田市立学校統合準備委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 新中学校名選定方法について・ 新中学校制服等選定方法について・ 各校メモリアル関係について
H30.9	『(仮称)下田市立統合中学校』校名募集	<ul style="list-style-type: none">・ 児童生徒、保護者教職員、一般の方を対象 応募数 627 候補 153
H30.10	第4回下田市立学校統合準備委員会	<ul style="list-style-type: none">・ 『(仮称)下田市立統合中学校』の校名案について・ 新中学校制服等選定方法について・ メモリアル記念品関係について

これまでの経過について⑥

5 平成30年度の経過②

年 月	事 柄	主な内容
H30.11	下田市立学校統合準備委員会第一次答申	・新中学校校名案について、『下田市立下田中学校』とする答申
H30.11	教育委員会（11月臨時会）	・下田市立学校統合準備委員会からの第一次答申に伴う教育委員会の方針決定について
H30.11	第2回下田市総合教育会議	・『(仮称)下田市立統合中学校』の校名変更について
H30.11	下田市政策会議	・新中学校校名候補を『下田市立下田中学校』とする方針決定
H30.12	下田市議会（12月定例会） 下田市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正 提案可決	・『(仮称)下田市立統合中学校』とされていた新中学校名を『下田市立下田中学校』とする内容の条例改正を提案し、可決。
H30.12	第1回新中学校制服等展示会及び 新中学校制服等方向性アンケート実施	・学校再編世代となる小5以下の保護者及び市内小中学校全教職員を対象 配付 1,419 回収 671 回収率 47%
H31.2	第2回新中学校制服等展示会及び 制服等アンケート投票実施	・方向性アンケート結果に基づいて製作された制服等サンプルを展示し、アンケート投票を実施。対象は小5以下の保護者及び市内小中学校全教職員を対象
H31.3	第5回下田市立学校統合準備委員会	・新中学校制服等の選定について ・新中学校校章について ・新中学校部活動について

これまでの経過について⑦

6 令和元年度の経過

年 月	事 柄	主な内容
R元.5	第6回下田市立学校統合準備委員会	・ 中学校再編に関する経過説明及び今後について
R元.5	下田市立学校統合準備委員会 教職員合同部会研修会	・ 中学校再編に関する経過及びスケジュール ・ 研究報告及び今後の準備について ・ 教職員の意識向上に向けたアンケートについて
R元.6	第7回下田市立学校統合準備委員会	・ 新中学校制服等の最終決定について
R元.7	下田市立学校統合準備委員会第二次答申	・ 新中学校制服等について、答申
R元.8	下田市立学校統合準備委員会 市内教職員全体会	・ 統合準備委員会各部会経過報告 ・ 講演『学校教育の社会的役割再考 ～生涯にわたる学習者の育成に向けて～』 千葉大学教育学部 教授 貞広齋子先生 ・ ワークショップ 『主体的・継続的学習者を育成する学校』
R元.9	第8回下田市立学校統合準備委員会	・ 新中学校整備計画について ・ 部活動選定プロセスについて
R元.9	新中学校部活動検討に係るアンケート実施	・ 学校再編世代児童保護者及び中学校全教職員を対象 児童・保護者) 配付 798 回収 755 回収率 95% 中学校教職員) 配付 56 回収 54 回収率 96%
R元.10 ～11	市長と語る会・保護者説明会	・ 市内10地区ごと ・ 7小学校学区及び下田中学校学区 (全8回)
R元.12	第9回下田市立学校統合準備委員会	・ 中学校再編保護者説明会概要報告及び通学方法等 ・ 新中学校部活動について ・ 校章等選定について

総合教育会議報告書について①

1 総合教育会議報告書策定の経緯

平成27年3月26日 下田市立学校等再編整備審議会 答申内容（中学校部分）

- ・稲梓中と稲生沢中との統合
- ・下田東中が単学級となった場合の下田中との統合
- ・将来において、下田市に中学校は一つということも視野に入れた中学校再編を考えていく

下田市総合教育会議（構成員：市長、教育長、教育委員4名 計6名）

- ・二つの中学校に統合した数年後に再び一つに統合することへの懸念
- ・少子化が進行している中、4校を一度に統合するという方法も考えることができるのではないか

中学校の規模に関わる諸課題や学校再編アンケートの検証、下田市立4中学校の生徒数推移及び現状などを踏まえ、協議、検討し、報告書を取りまとめ

総合教育会議報告書について②

2 総合教育会議における中学校再編に関する方向性について (H28.8)

下田市総合教育会議では、中学校の規模に関わる諸課題や学校再編アンケートの検証、下田市立4中学校の生徒数推移及び現状などを踏まえ、協議、検討した結果、以下の方向性を示しました。

1 中学校の統合手法について

方向性 下田市立4中学校を一度に統合する1校化の手法が望ましい。

理由 ① 稲梓中学校と稲生沢中学校を統合したとしても再び単学級の発生が近い将来見込まれるため。

② 国が示す標準規模校（学級数が12学級から18学級）の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせていくため。

2 新中学校候補地について

中学校設置基準、既存4中学校跡地の活用、防災面での安全性及び国の基準を参考に市内全域からの通学を考慮した結果、現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい。

総合教育会議報告書について③

3 今後の中学校再編に関する検討について (H28.8)

今後の中学校再編に関する検討は、報告書に以下のとおり記載されており、この記載内容に基づき、更に協議及び検討を進めてきました。

今後の中学校再編の検討に当たっては、生徒の教育環境を守り、改善することを第一目的とし、次の点に留意し進める必要があります。

- 1 下田市総合教育会議では、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましいという結論に達しましたが、今後、更なる中学校再編に関する課題の検討等を行うため、保護者、地域住民、学校関係者から成る会議を設置し、具体的課題解決への方策を検討すること。
- 2 アンケート分析の結果、中学校再編に関する情報について、保護者等に対し十分に伝達されていない状況が伺えるため、方針を明確に示したうえで、保護者、地域住民等に対する説明会を開催すること。
- 3 今後、人口減少がより進行し、これまで学校を中心に培ってきた教育環境や地域の文化伝統の維持継承が困難となることが予測されるため、中学校と地域とのつながりをより強固とする方策を検討すること。
- 4 これまでの下田市総合教育会議の協議内容や検討資料等を別冊として取りまとめたのでそれらを基に再編について検討すること。

教育委員会報告書について①

1 教育委員会報告書策定の経緯

平成28年8月26日「下田市立中学校再編に係る報告書(下田市総合教育会議策定)」で示された方向性

- ・下田市立4中学校を一度に統合する1校化の手法とするのが望ましい。
- ・新中学校候補地について、稲生沢中学校または下田中学校跡地とするのが望ましい。



下田市教育委員会として、中学校再編に係る課題について、様々なご意見を聴取する必要があると判断。意見を取りまとめるとともに、それら意見から教育委員会としての方向性を示すため、報告書を策定。

【意見を聴取するための取り組み】

- (1) 下田市立中学校再編検討会議の設置
- (2) 総合教育会議報告書保護者説明会の開催
- (3) 市長と語る会の開催
- (4) 総合教育会議報告書中学校再編に係るアンケート調査の実施

教育委員会報告書について②

2 今後の方向性について (H29.3) ①

総合教育会議報告書において、「段階を踏まず、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましい」と示されたことから、下田市教育委員会では、中学校再編に係る課題について、下田市立中学校再編検討会議やアンケート調査などから貴重なご意見を聴取させていただき、次のとおり、今後の方向性を取りまとめました。

1 校舎位置

方向性 現在の下田中学校敷地を利用し、新たな中学校を設置したい。

理由 下田市総合教育会議において、新中学校候補地は、「現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい」という方向性が示されました。下田市立中学校再編検討会議での意見やアンケート結果、既存学校施設状況、周辺環境なども含め総合的に検討した結果、生徒の学習環境を守り、改善していくことを第一目的とした場合、現在の下田中学校敷地が望ましいという方向性に至りました。しかし、懸念とされている通学における防災や防犯などの安全性を高めるための対応やその他の課題については今後、更なる検討を行う必要があります。

教育委員会報告書について③

2 今後の方向性について (H29.3) ②

2 通学補助

方向性 保護者への負担を考慮すると全額補助としたいが、最低でも現在、負担していただいている以上の負担はかけないことを前提に、継続して検討する。

理 由 市内全域からの通学となるため、教育を受けるための不公平感の是正、時間的、精神的制約への対応を考慮すると全額補助が望ましいと認識していますが、市の財政状況を考慮すると現在、保護者に負担していただいている以上の負担はかけないことを前提に、今後、更なる検討を行う必要があります。

3 建設手法

方向性 既存学校施設を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、継続して検討する。

理 由 下田市立4中学校を一度に統合するためには、多額な事業費が必要となりますが、現在の市の財政状況を考慮すると既存学校施設や補助制度を最大限活用した大規模改修を視野に入れ、今後、更なる検討を行う必要があります。

3 既存中学校の跡地利用について

下田中学校以外の既存中学校の跡地利用については、今後、中学校再編に係る政策決定を行った後に検討します。また、まちづくりの観点からも跡地利用は非常に重要なことから、市としても全庁的な対応にて、地域との協議を進める予定です。

再編整備審議会について①

1 再編整備審議会審議経過について

教育委員会では、教育委員会報告書で示した今後の方向性に基づき、教育委員会の附属機関である下田市立学校等再編整備審議会に諮問し、答申を受けました。

日 程	事 項	主な内容
平成29年4月27日	第1回審議会	・ 諮問、中学校再編経過説明
平成29年5月29日	中学校視察及び第2回審議会	・ 稲生沢中学校及び下田中学校視察 ・ 中学校視察に関する意見交換 ・ 答申案作成に向けた検討
平成29年7月4日	第3回審議会	・ 中学校再編に関する答申案の協議及び決定
平成29年7月18日	審議会答申	・ 教育委員会への答申（会長・副会長）

※これまでに取りまとめられた「下田市立中学校再編に関する報告書」「下田市立中学校再編手法及び新中学校候補地に係る報告書」などの資料をもとに、中学校視察も行い、慎重に審議を重ねました。

再編整備審議会について②

2 再編整備審議会答申について (H29.7.18) ①

審議会答申内容

1 下田市立中学校の再編整備について

(1) 再編手法及び校舎位置について

今後の生徒数、既存学校施設状況、周辺環境などを含め、総合的に検討した結果、より良い生徒の学習環境を創造するためには、現在の下田中学校敷地を利用し、4校を1校化する新たな中学校を設置すること。

(2) 通学補助について

市内全ての中学校を再編することから、これまで以上に通学に係る時間及び経費が掛かり、生徒・保護者の負担が増加するため、通学費については、保護者の負担に不公平が生じないよう行政が全額を補助すること。

(3) 建設手法について

生徒の教育環境の充実を図るため、既存学校施設を長寿命化する大規模改修とし、補助制度を最大限活用した上で、安心・安全で快適な学校施設を整備すること。

(4) その他について

ア 中学校再編の時期について

現在、平成33年度以降のできるだけ早い時期に中学校再編を行うとした上で協議を進めているが、具体的な時期について、早急に明らかにすること。

再編整備審議会について③

2 再編整備審議会答申について (H29.7.18) ②

審議会答申内容

(4) その他について

イ 通学に係る安全対策について

通学に係る安全対策については、最低限確保されるべき問題であり、自宅と学校との間を安全に登下校できる環境整備を最優先で検討すること。

ウ 再編時期にあたる生徒への配慮について

再編時期にあたる生徒に対しては、事前に学校間交流などを実施することにより、生徒たちの不安を可能な限り解消すること。また、下田中において仮設校舎となる環境になった場合には、その中でもより良い環境を目指し、細かな配慮をすること。

エ 保護者に対する説明会開催について

当審議会の答申後、保護者に対し説明会を開催するとともに、市当局として具体的な方策を持って臨むこと。

オ 下田市立学校統合準備委員会について

当審議会の答申後、下田市教育委員会の附属機関である「下田市立学校統合準備委員会」において、中学校再編に係る具体的な協議に入ると想定されるが、生徒の学習環境を守り、改善することを第一目的とするとともに、協議内容についても全ての子どもたち、保護者及び地域住民などに分かるよう情報提供を行うこと。

カ 中学校跡地利用について

中学校再編後の跡地利用については、今後のまちづくりの観点からも非常に重要なことから、地域住民などの意見を尊重し、慎重な検討を行うこと。

市の方針について①

1 中学校再編に関する市の方針について (H29.8)

平成28年8月に下田市総合教育会議で示した方向性に基づき、様々なご意見を頂きながら検討を進め、平成29年7月に附属機関である下田市立学校等再編整備審議会から下田市立中学校の再編整備についての答申を受けました。その後、下田市総合教育会議にて協議・調整し、平成29年8月に下田市政策会議において、答申を尊重しつつ、**令和4年(2022年)4月新中学校開校を目標に（現在小学校5年生が新中学校1年生なる年）中学校再編整備を推進していく方針を決定しました。**

(1) 再編手法及び校舎位置について

今後の生徒数、既存学校施設状況、周辺環境などを含め、総合的に検討した結果、より良い生徒の学習環境を創造するため、現在の下田中学校敷地を利用し、4校を1校化する新たな中学校を設置します。

(2) 通学について

市内全ての中学校を再編することから、これまで以上に通学に係る時間及び経費が掛かり、生徒・保護者の負担が増加するため、通学距離が概ね4km以上の生徒に対しては、路線バス通学定期券の支給やスクールバス運行、通学距離が概ね2kmから4kmまでの生徒に対しては、自転車(電動アシスト付自転車含む)及びヘルメット購入費補助を基本とし、その対策を講じます。

※国の中学校通学距離基準は6km

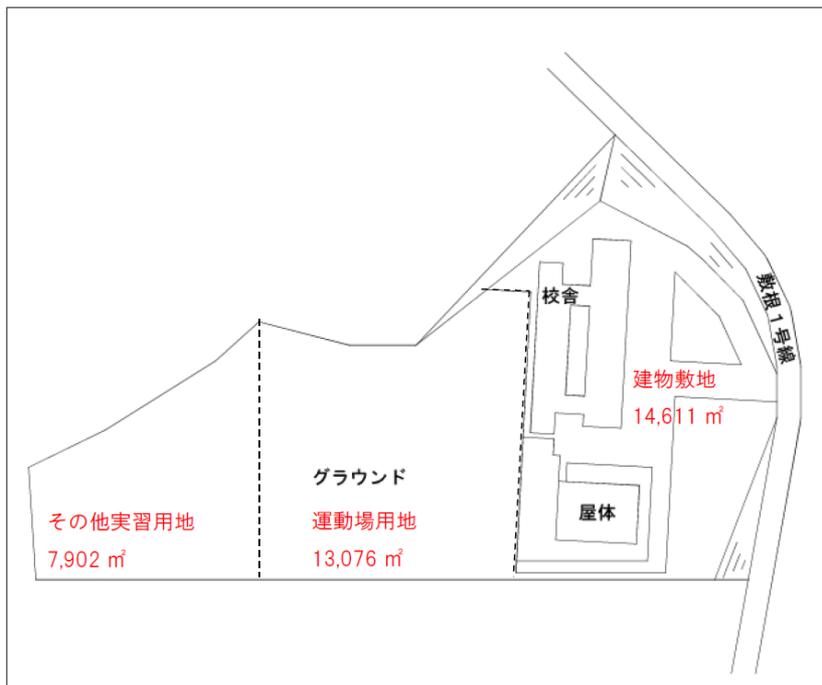
※今後、統合準備委員会等で最終的な決定をしていきます。

(3) 建設手法について

生徒の教育環境の充実を図るため、既存学校施設を長寿命化する大規模改修とし、補助制度を最大限活用した上で、安心・安全で快適な学校施設を整備します。

市の方針について②

2 下田中学校の現況



	区分	建物敷地	運動場用地	その他用地	計
土地 m ²	市保有	14,611	13,076	7,902	35,589
	借地	0	0	0	0
	計	14,611	13,076	7,902	35,589

	区分	建設年	構造	階数	延床面積	耐震ランク
建物 m ²	校舎	1984 (築34年)	鉄筋コンクリート造	2	5,193	I b
	体育館	1985 (築33年)	鉄筋コンクリート造	2	1,128	I b
倉庫、体育器具庫等の小規模な建物は含まない。						

ランク	東海地震に対する耐震性能
I	la 耐震性能が優れている建物。 軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。
	lb 耐震性能が良い建物。 倒壊する危険性はないが、ある程度の被害を受けることが想定される。
II	耐震性能がやや劣る建物。 倒壊する危険性は低い、かなりの被害を受けることも想定される。
III	耐震性能が劣る建物。 倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される。

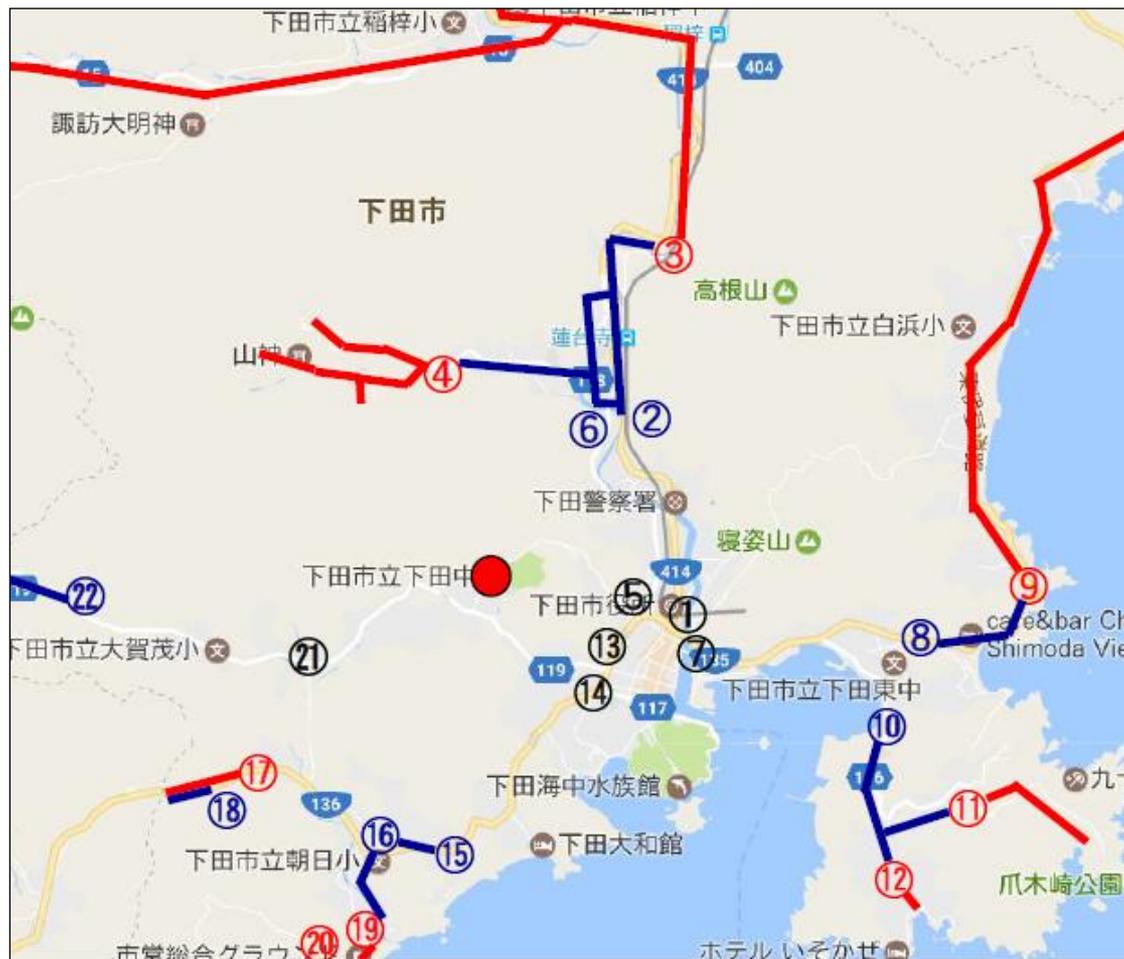
(注) 建築基準法上で耐震性を有するとされる建築物はランクIとランクII

○周辺環境

周辺環境としては、北側と南側を山に挟まれ、東側に敷根公園、西側にこども園及び住宅地と隣接している。交通面では敷地北側市道敷根1号線に面し、片側1車線道路で歩道整備もされている。

市の方針について③

3 下田中学校からの2・4・6km距離について



【稲梓・稲生沢方面】

国道 414 号線	①下田駅入口交差点付近 2km ②柳生入口交差点付近 4km ③重願寺先カーブ付近 6km
県道蓮台寺立野線	④大沢口バス停付近 6km
市道土浜高馬線	⑤こむらさき付近 2km ⑥本郷橋付近 4km

【白浜・外浦方面】

国道 135 号線	⑦新下田橋付近 2km ⑧上の山鎮目クリニック付近 4km ⑨ペンション青い海付近 6km
-----------	---

【須崎・柿崎方面】

県道須崎柿崎線	⑩下田ポートサービス付近 4km ⑪須崎御用邸付近 6km
市道須崎線	⑫川上バス停付近 6km

【田牛・吉佐美方面】

国道 136 号線	⑬シルバー人材センター付近 (数根1号線経由) 2km ⑭ローソン付近 (岩下経由) 2km ⑮入田浜入口付近 (岩下経由) 4km (大賀茂経由 4.5 km) ⑯吉佐美バス停付近 (岩下経由) 4.6 km (大賀茂経由 4 km) ⑰テイクワン付近 6km (大賀茂経由 3.7 km) ⑱マリンジャンボ入口付近 (大賀茂経由 4 km)
市道吉佐美田牛線	⑲総合グラウンド付近 6km (大賀茂経由 5.7 km) ⑳田中第一隧道付近 (大賀茂経由 6 km)

【大賀茂方面】

県道下田南伊豆線	㉑金山バス停付近 2km ㉒堀切バス停付近 4km
----------	------------------------------

※赤字：6km、青字：4km、黒字：2km

※4km地点から下田中までの電動アシスト付自転車での時間

②【往路：約18分】 ⑥【復路：約12分】

⑩【往路：約18分・復路：約17分】

⑬【往路：約18分・復路：約14分】

市の方針について④

4 各地区から下田中学校までの時間について (既存ダイヤ)

(1) 路線バス利用

地区	停留所	距離	時間 (内徒歩時間なし)
稲梓地区	加増野	14.8 km	30 分
	北の沢	13.0 km	31 分
稲生沢地区	大沢口	6.0 km	17 分
白浜地区	板戸一色	9.5 km	20 分
浜崎地区	須崎海岸	6.3 km	18 分
	爪木崎	7.7 km	28 分
朝日地区	田牛	7.6 km	23 分
	銭瓶峠	6.4 km	18 分
	堀切	4.0 km	10 分
下田地区	下田駅	1.8 km	5 分
※参考 平均		7.7 km	20.0 分
距離区分		時間区分	
5 km未満	2 か所	10 分未満	1 か所
5 km以上 10 km未満	6 か所	10 分以上 20 分未満	4 か所
10 km以上	2 か所	20 分以上 30 分未満	3 か所
—	—	30 分以上 40 分未満	2 か所
—	—	40 分以上	0 か所

※路線バスダイヤから時間算出(乗継等時間含まず)。H28.7 総合教育会議報告書(別冊)より引用

(2) 自転車利用

4 km地点から新中学校までの電動アシスト付自転車での時間 概ね片道20分

※4 km地点については、前スライド参照。

市の方針について⑤

5 遠距離通学方法の考え方

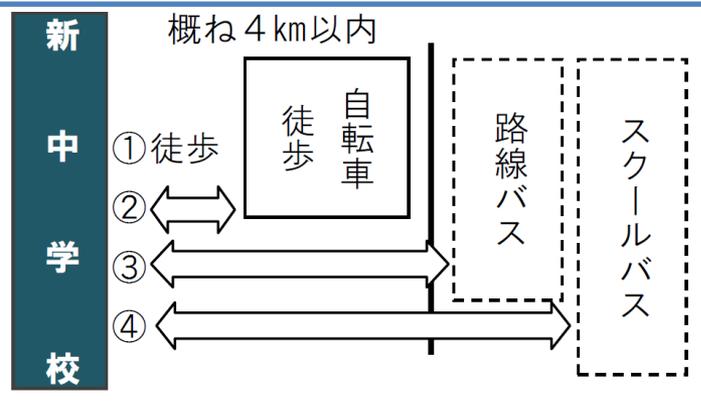
(1) 通学方法の考え方

新中学校への通学方法を以下のとおり、現在検討しています。

また路線バス沿線地域では、路線バス利用を検討、路線バス等が利用できない地域はスクールバスの運行という流れで検討しています。※今後、統合準備委員会等で最終的な決定をします。

○新中学校への通学

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ①概ね 2 km以内 | = 徒歩 |
| ②概ね 2 kmを超え 4 km以内 | = 徒歩又は自転車利用 |
| ③概ね 4 kmを超える | = 路線バス利用 |
| ④概ね 4 kmを超えるが、路線バス等が利用できない | = スクールバス利用 |



(2) 通学に関する補助等について

通学に関する補助等は、以下のとおり、現在検討しています(以下内容は現在の市の決定事項)。

- ①自転車(電動アシスト付自転車含む)ヘルメット購入費補助【市独自補助】

(上限額：自転車40,000円・ヘルメット2,000円 計42,000円・補助率1/2)

- ②路線バス通学補助(定期券現物支給：4か月定期×3回分【365日分全て補助】)

【4 km～6 km分：市独自補助】

- ③スクールバスの購入(市コミュニティバス運行路線沿線：須原、宇土金、椎原、北湯ヶ野、相玉、箕作の生徒を対象に2台想定)、運行についても部活動行事に合わせ、土日等対応。

統合準備委員会について①

1 統合準備委員会審議経過について①

教育委員会では、下田市立中学校の学校統合について、より具体的な協議・検討を行うため、教育委員会の附属機関である下田市立学校統合準備委員会に諮問しました。

日程	事項	主な内容
平成30年2月21日	第1回委員会	・ 諮問、中学校再編経過説明
平成30年5月25日	第2回委員会	・ 中学校再編経過説明 ・ 講演『希望ある学校再編のために』 静岡大学大学院教育学研究所 教授 武井敦史先生
平成30年8月23日	第3回委員会	・ 新中学校名選定方法について ・ 新中学校制服等選定方法について ・ 各校メモリアル関係について
平成30年9月3日 から9月28日	『(仮称)下田市立統合中学校』 校名募集	・ 児童生徒、保護者教職員、一般の方を対象 応募数 627 校名候補 153
平成30年10月26日	第4回委員会	・ 『(仮称)下田市立統合中学校』の校名案について ・ 新中学校制服等選定方法について ・ メモリアル記念品関係について
平成30年11月7日	第一次答申	・ 新校名案を『下田市立下田中学校』とする答申
平成30年12月16日 平成31年2月17日	第1回展示会・方向性アンケート 第2回展示会・アンケート投票	・ 新中学校制服、ジャージ(体操服)、カバンについて、 2回の展示会を開催し、アンケートによりその意向を把握
平成31年3月12日	第5回委員会	・ 新中学校制服等の選定について ・ 新中学校校章等の選定方法について ・ 新中学校部活動について 等

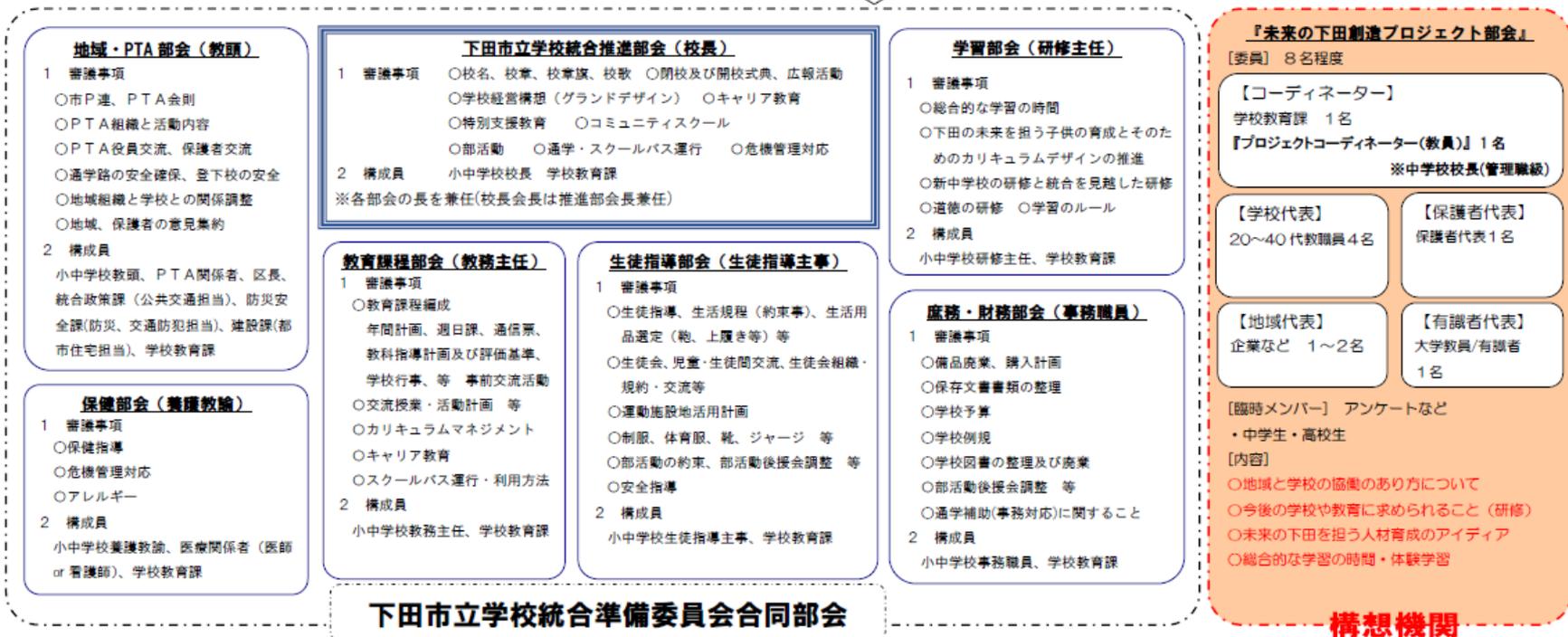
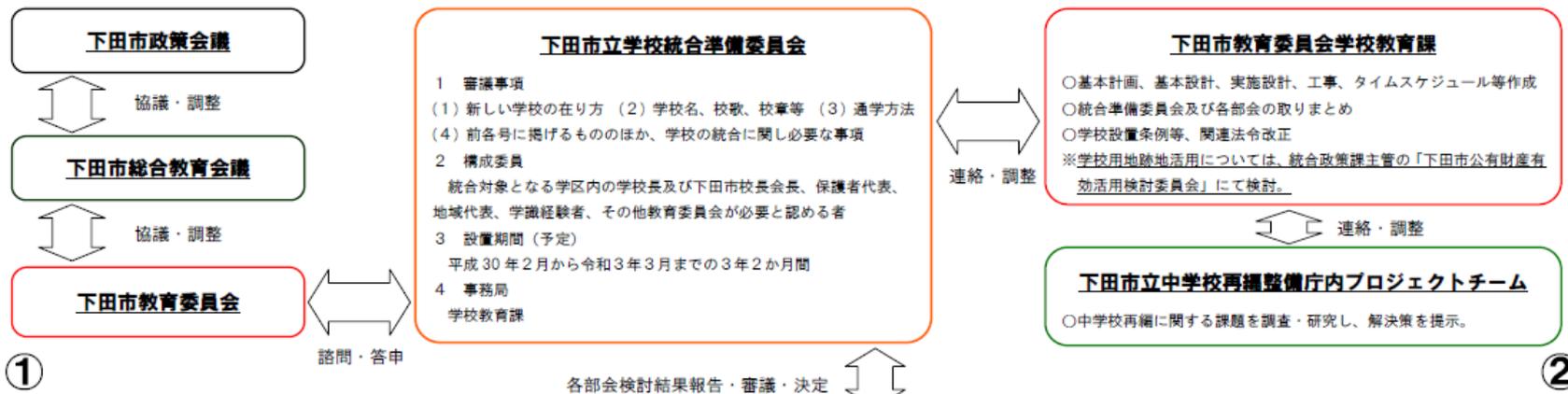
統合準備委員会について②

1 統合準備委員会審議経過について②

日程	事項	主な内容
令和元年5月8日	第6回委員会	・ 中学校再編に関する経過説明及び今後について
令和元年6月27日	第7回委員会	・ 新中学校制服等の最終決定について
令和元年7月1日	第二次答申	・ 新中学校制服等について、答申
令和元年9月3日	第8回委員会	・ 新中学校整備計画について ・ 部活動選定プロセスについて
令和元年9月17日 から9月27日	新中学校部活動検討に係る アンケート調査	・ 学校再編対象世代(全児童)・中学校教職員を対象 児童回答数 755(95%)・教職員回答数 54(96%)
令和元年11月6日 から11月28日	下田市立中学校再編に係る 保護者説明会(小学校区単位)	・ 新中学校制服等、通学方法、部活動、施設整備計画 出席保護者 182人
令和元年12月20日	第9回委員会	・ 中学校再編保護者説明会概要及び通学方法等 ・ 新中学校部活動について ・ 新中学校校章等選定について
令和2年3月10日	第10回委員会(中止)	・ 新型コロナウイルス感染症拡大等防止のため、中止
令和2年5月22日	第11回委員会(書面会議)	・ 会長及び副会長の選出について

統合準備委員会について③

2 統合準備委員会組織について



統合準備委員会について④

3 統合準備委員会第一次答申について (H30.11.7) 【新中学校名】

下田市立中学校の学校統合について(第一次答申)

1 新中学校校名案について 下田市立下田中学校 (新中学校校名案の決定に至る経過)

平成30年10月26日に第4回下田市立学校統合準備委員会を開催し、新中学校校名案について審議しました。

「(仮称)下田市立統合中学校」の校名案については、平成30年9月3日から9月28日にかけて募集を行った結果、漢字表記の『下田』が5割以上を占め、「下田市に唯一の中学校になるため。」や「下田市の中学校として下田が相応しい。」などの理由が多くみられました。

また、本委員会においても「『下田』という地名は全国的にも知名度が高い。」「自分の住んでいる『下田』をもっと好きになって欲しい。」等の意見が多く挙げられました。

その他、応募のあった様々な校名についても理由を斟酌し、慎重に審議を行った結果、予定されていた投票を省略することとし、統合により新たに開校する中学校の名称は、漢字表記の『下田』が相応しいものとして全会一致で承認されました。

※市では、第一次答申を受け、教育委員会臨時会、総合教育会議にて協議調整した後、政策会議において新中学校名候補を『下田市立下田中学校』とする方針決定をしました。その後、**下田市議会12月定例会**にて、**2022年4月**、**現在の下田中学校敷地に設置する新しい中学校の名称を『下田市立下田中学校』**とした改正条例案が可決されました。

統合準備委員会について⑤

4 統合準備委員会第二次答申について(R元.7.1)【新中学校制服等】

下田市立中学校の学校統合について(第二次答申)

1 新中学校制服等について

新たな制服、ジャージ、体操服、通学用カバン、靴、上履き、体育館シューズ等を導入する。制服等の導入時期は、買い替え等による負担軽減を考慮し、新中学校開校時3年生となる現在の小学校6年生が既存4中学校へ入学する令和2年4月からとする。

※令和元年7月1日に統合準備委員会から教育委員会に対し、「新中学校制服等について」第二次答申が行われました。市では、統合準備委員会からの第二次答申を受け、同月中に教育委員会臨時会を開催し新中学校制服等の仕様について最終決定しました。



新制服・ジャージ・体操服・通学カバン



新制服での入学式の様子(下田東中)

統合準備委員会について⑥

5 新中学校校章等の選定について

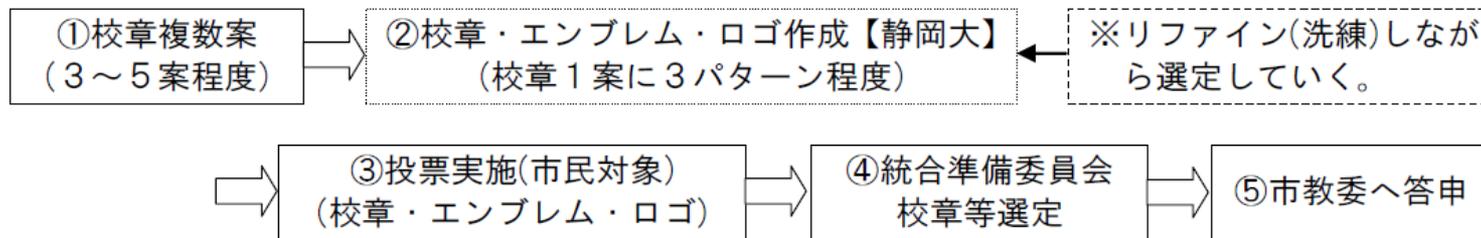
(1) 専門家への依頼について

教育委員会として、静岡大学教育学部(地域創造学環副担当)の伊藤文彦教授に対し、校章・制服エンブレム・学校名ロゴ作成(漢字・ローマ字)について、協力依頼(静岡大学学生の協力含む)をしました。

(2) 校章の選定イメージについて

選定方法としては、公募を行い、統合準備委員会にて候補選定し、専門家に依頼後、投票等実施、その投票結果を参考に統合準備委員会にて決定する形が了承されました。

【選定イメージ】 ※複数案を3案程度選定した場合(応募状況等により変更あり)



(3) 校章の選定スケジュール

時期	内容	備考
令和2.4~5	「下田市立下田中学校」校章案募集(どなたでも応募可)	市内児童生徒と一般に分け募集
令和2.6~7	統合準備委員会において候補選定(①)	候補選定後、静岡大にて校章等をリファイン(②)
令和2.10以降	校章・エンブレム・ロゴ投票実施(③)	
今年度中	統合準備委員会において選定(④)、市教委へ答申(⑤)	答申後、教委定例会承認をもって最終決定

統合準備委員会について⑦

6 新中学校部活動について

(1) 現時点における市としての方針

市として、既存4中学校で設置している部活動を最優先とするため、次の方針を示しています。

- 学校再編前の新たな部活動の合同チーム設置は行わない。既存部活動が不足となった場合、合同チーム設置を検討。
- 学校再編後に新たな部活動の拡充。

(2) 新中学校部活動に係る決定事項について(第9回統合準備委員会において承認)

- 決定①** 令和4年4月統合時には、全ての生徒が新たな部活動を選択できる。
- 決定②** 令和4年4月から全員加入制を基本とする。但し、例外を認める。
- 決定③** 令和4年4月から部活動の朝練習は実施しない。
- 決定④** 開設する部活動決定時期を令和2年12月(予定)とする。

(3) 部活動選定スケジュール

時 期	内 容	備 考
令和元.9	部活動検討に係るアンケート実施(第1回) 対象:学校再編対象世代(全児童・保護者・教職員)	部活動開設の検討、統合時3年生の扱いについての基礎資料とするため。
令和2.1	統合時3年生の部活動の扱い及び開設する部活動の公表時期について情報公開	4中学校ごと新入生説明会等にて説明。
令和2.7	部活動加入希望調査(第2回) 対象:学校再編対象世代(全児童及び中1・保護者・教職員)	部活動開設を検討・決定するための資料とし、運用方法をより具体的に検討するため。
令和2.12	開設する部活動決定(予定)	開設する部活動や運用方法については、R3.4に入部希望調査(第3回)をとり、確定する(R3.7頃)。
令和3.4	部活動入部希望調査(第3回)	
令和3.7	開設する部活動確定(予定)	
令和4.4	新中学校開校:部活動開設・運用開始	

統合準備委員会について⑧

(4) 新中学校部活動検討に係る第1回アンケート(児童・保護者)

ア 調査目的

令和4年4月に開校する下田市立下田中学校に設置する部活動やその活動内容等について、検討するためアンケートを実施。

イ 調査実施年月日 令和元年9月17日(火)～9月27日(金)

ウ 調査方法

調査対象は、学校再編世代となる現在の小学校(7小学校)全ての児童と保護者(児童1名につき回答用紙1枚)。なお、調査票は各小学校経由による配布・回収により実施。

エ 回収状況

配付数	回収数	回収率
798	755	95%

オ 調査項目の構成

	質問項目	回答方法
1	所属等について	「学校名及び学年」「児童氏名」「保護者氏名」を記述式。
2	Q1:新しい中学校にあったら入部したい部活動を1つ選んでください。	現在設置している部活動及び過去に設置していた部活動を選択式、それ以外の部活動を希望する場合は「その他」として記述式。
	Q2:【5・6年生(新中学校2・3年生)のみ、お答えください。】新中学校になったら、新たに部活動を選び直せることを希望しますか。または、現4中学校で所属した部活動を継続することを希望しますか。その理由もお書きください。	新中学校2・3年生となる現在の小学校5・6年生を対象とした質問設定。部活動を新たに選択するのか、継続するのかについて選択式にて回答。その以外の意見については「その他」として記述式。併せて、その理由についての回答は記述式。
	Q3:部活動に所属を希望せず、外部クラブチーム等の活動を希望される方は、その習い事やスポーツ名、またその理由をお書きください。	クラブチーム希望者は、その習い事・スポーツ名、クラブチームを希望する理由について記述式にて回答。
3	その他、新しい中学校の部活動についてご意見がありましたらご記入ください。	記述式。

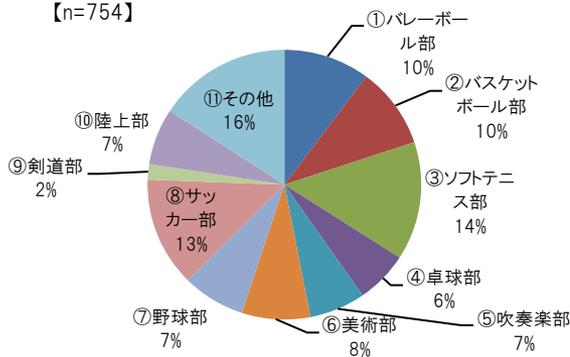
統合準備委員会について⑨

(5) 新中学校部活動検討に係る第1回アンケート結果(児童・保護者)①【Q1抜粋】

Q1：新しい中学校にあったら入部したい部活動を1つ選んでください。

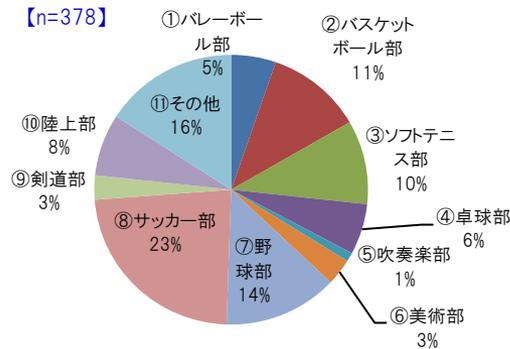
【全体】

【n=754】



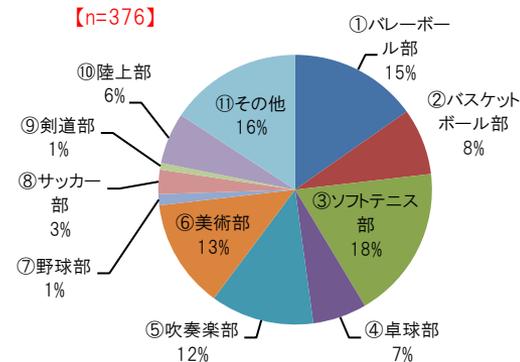
【男子】

【n=378】



【女子】

【n=376】



部活名	回答数	割合
①バレーボール部	77	10%
②バスケットボール部	73	10%
③ソフトテニス部	107	14%
④卓球部	47	6%
⑤吹奏楽部	50	7%
⑥美術部	61	8%
⑦野球部	56	7%
⑧サッカー部	99	13%
⑨剣道部	14	2%
⑩陸上部	51	7%
⑪その他	119	16%

部活名	回答数	割合
①バレーボール部	20	5%
②バスケットボール部	43	11%
③ソフトテニス部	38	10%
④卓球部	23	6%
⑤吹奏楽部	4	1%
⑥美術部	12	3%
⑦野球部	51	14%
⑧サッカー部	88	23%
⑨剣道部	11	3%
⑩陸上部	28	8%
⑪その他	60	16%

部活名	回答数	割合
①バレーボール部	57	15%
②バスケットボール部	30	8%
③ソフトテニス部	69	18%
④卓球部	24	7%
⑤吹奏楽部	46	12%
⑥美術部	49	13%
⑦野球部	5	1%
⑧サッカー部	11	3%
⑨剣道部	3	1%
⑩陸上部	23	6%
⑪その他	59	16%

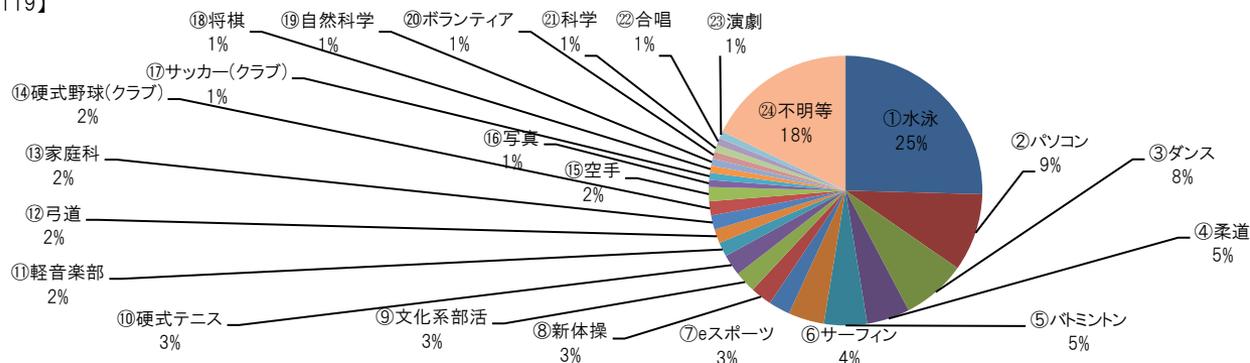
統合準備委員会について⑩

(5) 新中学校部活動検討に係る第1回アンケート結果(児童・保護者)②【Q1抜粋】

Q1：新しい中学校にあったら入部したい部活動を1つ選んでください。

【その他部活動記入欄(全体)】

【n=119】



部活名	回答数	割合	部活名	回答数	割合
①水泳	30	25%	⑬家庭科	2	2%
②パソコン	11	9%	⑭硬式野球(クラブ)	2	2%
③ダンス	9	6%	⑮空手	2	2%
④柔道	6	5%	⑯写真	1	1%
⑤バトミントン	5	4%	⑰サッカー(クラブ)	1	1%
⑥サーフィン	3	3%	⑱将棋	1	1%
⑦eスポーツ	3	3%	⑲自然科学	1	1%
⑧新体操	3	3%	⑳ボランティア	1	1%
⑨文化系部活	3	3%	㉑科学	1	1%
⑩硬式テニス	3	3%	㉒合唱	1	1%
⑪軽音楽部	2	2%	㉓演劇	1	1%
⑫弓道	2	2%	㉔不明等	21	18%

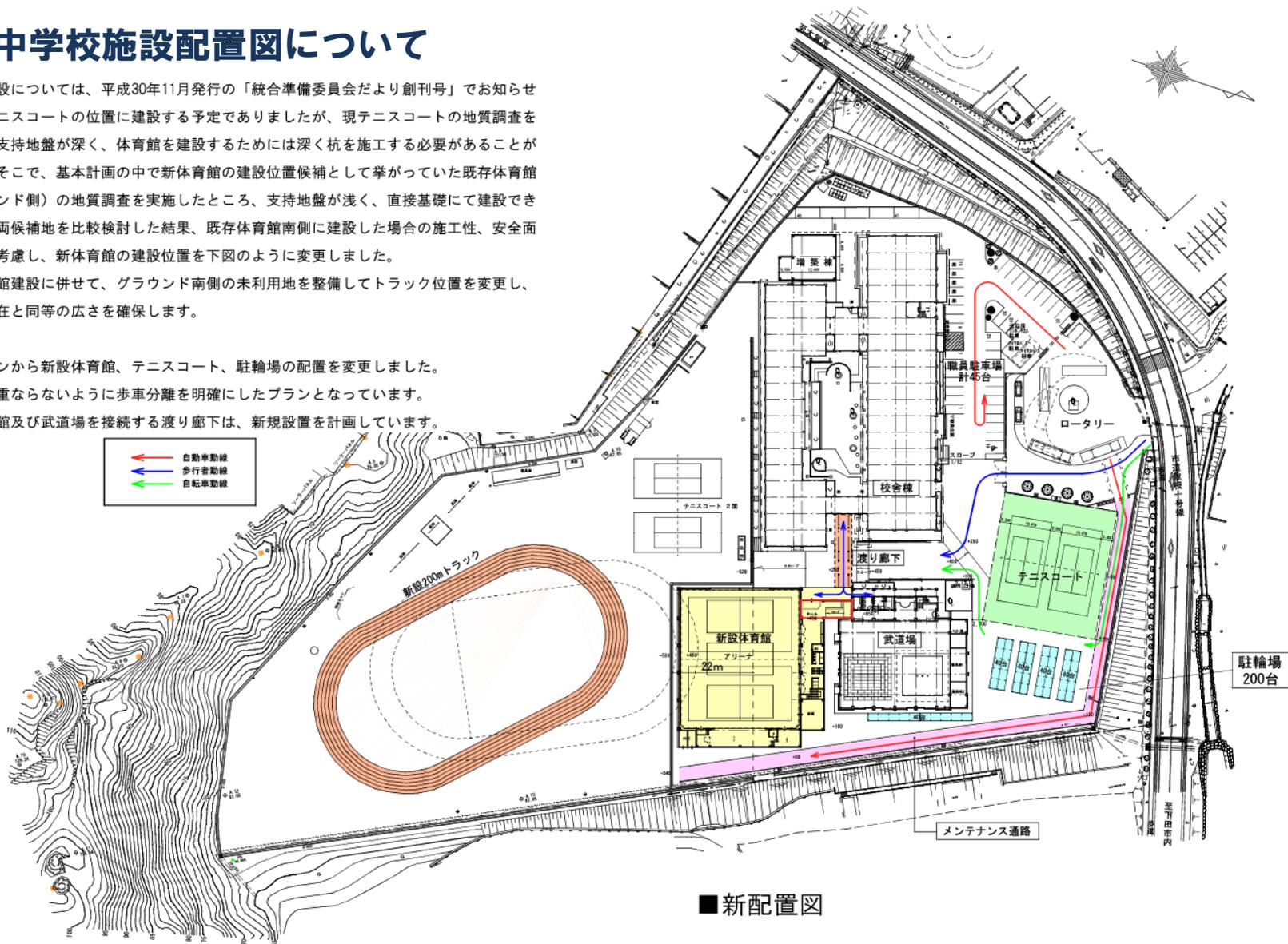
中学校整備計画について①

1 新中学校施設配置図について

新体育館の建設については、平成30年11月発行の「統合準備委員会だより創刊号」でお知らせしたとおり現テニスコートの位置に建設する予定でありましたが、現テニスコートの地質調査を実施したところ支持地盤が深く、体育館を建設するためには深く杭を施工する必要があることが判明しました。そこで、基本計画の中で新体育館の建設位置候補として挙がっていた既存体育館の南側（グラウンド側）の地質調査を実施したところ、支持地盤が浅く、直接基礎にて建設できる地質でした。両候補地を比較検討した結果、既存体育館南側に建設した場合の施工性、安全面及びコスト等を考慮し、新体育館の建設位置を下图のように変更しました。

なお、新体育館建設に併せて、グラウンド南側の未利用地を整備してトラック位置を変更し、グラウンドは現在と同等の広さを確保します。

- ・基本設計プランから新設体育館、テニスコート、駐輪場の配置を変更しました。
- ・歩道と車道が重ならないように歩車分離を明確にしたプランとなっています。
- ・校舎と新体育館及び武道場を接続する渡り廊下は、新規設置を計画しています。



■新配置図

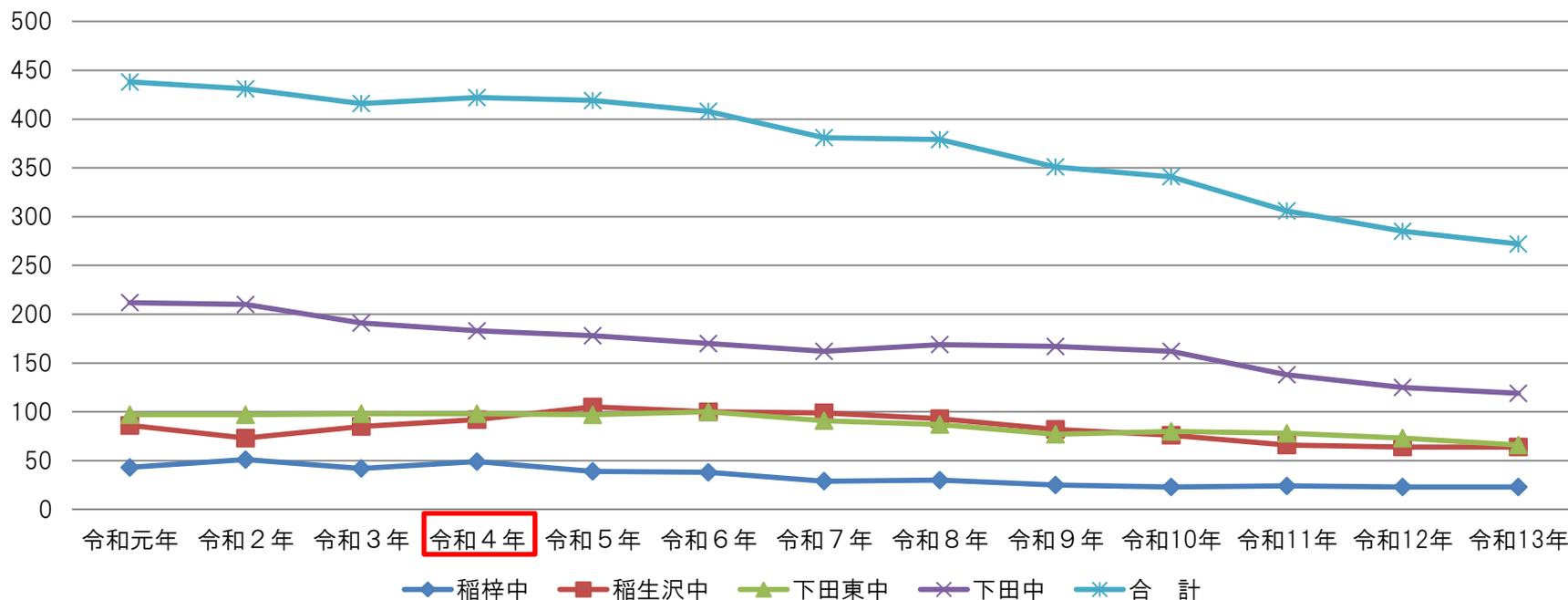
中学校整備計画について②

2 工事スケジュールについて

工事エリア	令和元年度(2019)												令和2年度(2020)												令和3年度(2021)												令和4年度(2022)
													第1工区						第2工区						第3工区						第4工区						
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
北棟校舎 西																																					
北棟校舎 東																																					
南棟校舎 東																																					
南棟校舎 西																																					
増築棟																																					
仮設校舎																																					
新アリーナ																																					
テニスコート																																					
武道場 (現体育館)																																					
外構 (ロータリー・正門)																																					

新
中
学
校
開
校

【参考】今後の生徒数推移



学校名	R元 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
稲 梓	43	51	42	49	39	38	29	30	25	23	24	23	23
稲生沢	86	73	85	92	105	100	99	93	82	76	66	64	64
下田東	97	97	98	98	97	100	91	87	77	80	78	73	66
下 田	212	210	191	183	178	170	162	169	167	162	138	125	119
合 計	438	431	416	422	419	408	381	379	351	341	306	285	272

※令和4年(2022年)4月に新中学校設置予定ですが、令和4年度以降も現在の4中学校ごとの生徒数を参考までに掲載。
 ※数値データは令和元年は平成31年(2019年)4月1日時点実数(特支含む)。令和2年以降は、平成31年(2019年)4月1日時点住民基本台帳行政区別年齢別人口調べ利用。